



[男女共同参画社会の実現をめざす情報誌]

トピックス 男女共同参画に関する
市民意識・実態調査結果より

OKAYAMA

2006.3

vol. 30

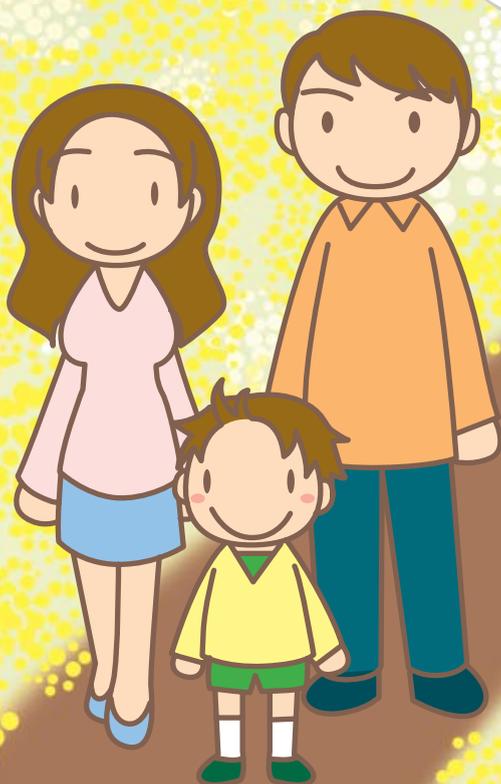
DUO

[デュオ]

特集

**さんかく小学校へ
行ってみよう!**

~ひとりひとりが輝いて~



岡山市

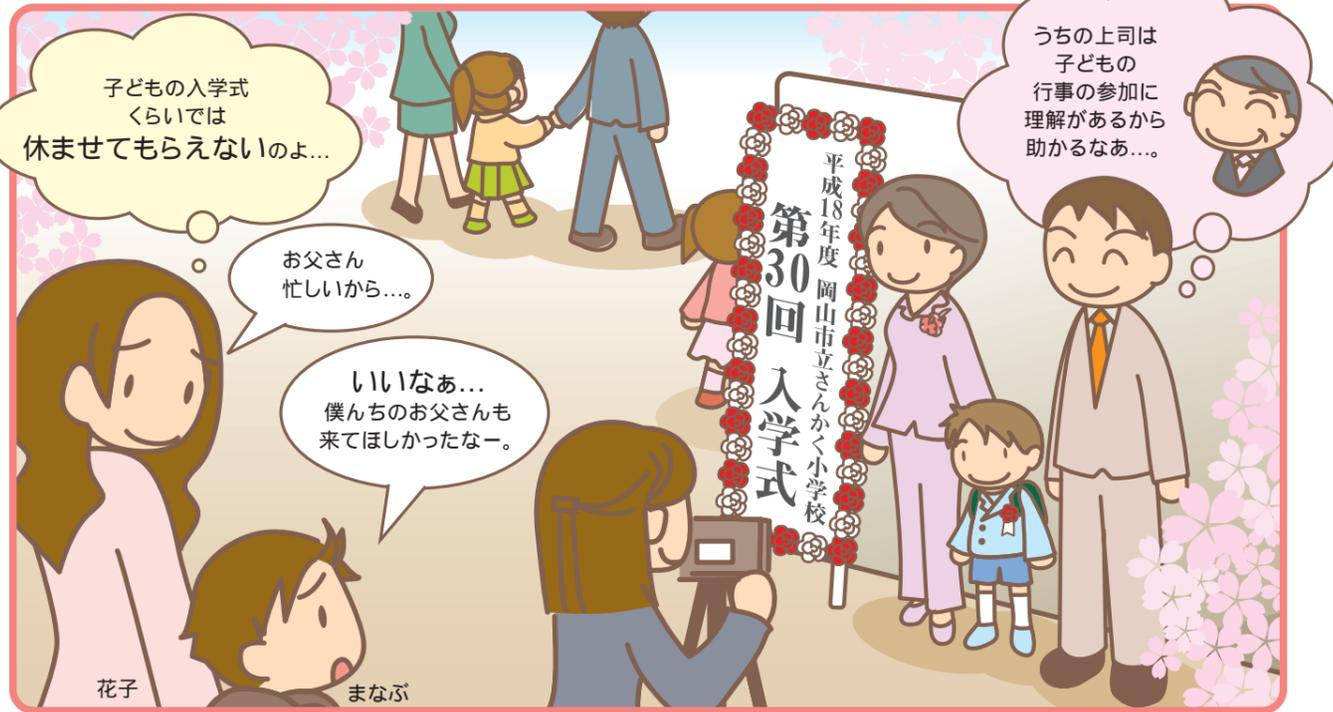
さんかく小学校へ行ってみよう!

～ひとりひとりが輝いて～

みんなが自分らしくいられる学校ってどんな学校?
 みんなが自分らしくいられる職場や家庭や地域って?
 みんなが自分らしく生きることができる社会って、いったいどんな社会?

岡山市が目指す「男女共同参画社会」のひとつのモデル学校の「さんかく小学校」に入学するまなぶさんとお母さんの花子さんの学校一日体験の様子を見て、あなたも一緒に考えてみませんか?ではさっそく、さんかく小学校へ行ってみよう!

今日はさんかく小学校の入学式。



さんかくマスターの私が案内するわよ。

体育館に行って、入学式の様子を見てみましょう。



以前は「女の会長だ」と驚かれたものだけど、今じゃ私まわりも意識しなくなったかなあ。

祝 第30回 入学式

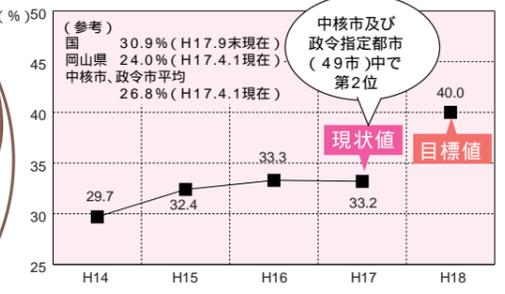
みなさん、ご入学おめでとうございます。

うちの上司は子どもの参加に理解があるから助かるなあ...

えっ、PTA会長さん女の人なんだ! ...あれ、みんな驚いてないわ...

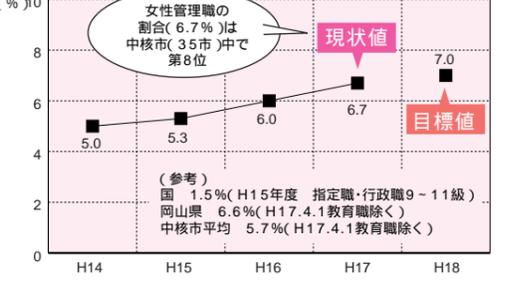
私、時代おくれなのかしら。

【データ2】市の審議会の女性委員の割合 H17年度岡山市調査



市では、政策の立案等に際して幅広い意見を聴くため、各種審議会等を設置しています。市の全ての審議会等の委員に占める女性の委員の割合は、中核市及び政令指定都市49市中で2年連続、第2位!
 「さんかく条例」(*1)では、全ての審議会等について、男女いずれの委員も40%以上となることを義務付けています。

【データ3】女性管理職の割合 H17年度岡山市調査



ちなみに、市の管理職職員のうち、女性の管理職職員の占める割合も、中核市35市の中で第8位と、上位です。

【データ1】父親の授業参観出席率 H17年度岡山市調査



「過去1年間に、父親が子どもの保育園・幼稚園・小学校・中学校の授業参観に参加した家庭の割合です。(岡山市調査) 目標値にしている平成14年度調査時の女性の出席率85%と比べると、男性の参加がまだ少ないのですが、着実に増えつつあります。参加してみたら新しい発見があるかも?

さんかく条例(*1)岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例(H13.6制定)の愛称第19条 市長その他の執行機関は、附属機関として設置する審議会等の委員を任命し、又は委嘱するときは、男女いずれか一方の委員の数が、委員の総数の10分の4未満とならないよう選任しなければならない。

さあ、次は2年生の教室に入ってみましょう。



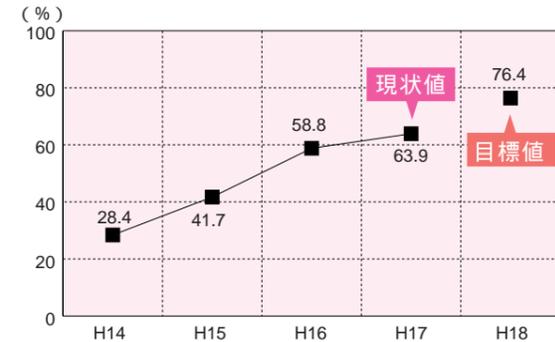
名簿の順番は男女混合の
アイウエオ順なんだ!
しかもみんな「さん」付けなのね。
私たちの頃とはずいぶん
変わった気がするわ。

鈴木ゆうきさん
はい!

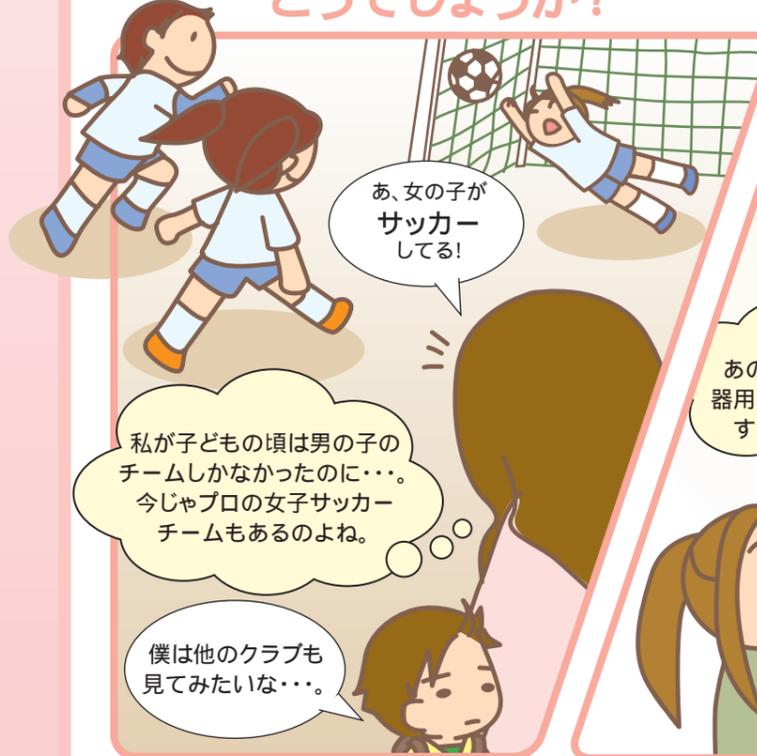
みんな、いろんな色の
ランドセルだ。
僕もオレンジ色がいいって
お母さんに言えばよかった。

市内の小学校(87)・中学校(35)
のうち、男女混合名簿を実施し
ている学校の割合は小学校が
70校、中学校が8校の計78校で、
年々増加しています。

【データ4】男女混合名簿の実施率 H17年度岡山市調査



放課後のクラブ活動の様子は
どうでしょうか?



あ、女の子が
サッカー
してる!

私が子どもの頃は男の子の
チームしかなかったのに・・・。
今じゃプロの女子サッカー
チームもあるのよね。

僕は他のクラブも
見てみたいな・・・。



あら、こっちは
昔遊びクラブだって。
あやとり、懐かしいなあ。

えっ、まなぶは
サッカーよりも
こういう遊びの方に
興味あるんだ・・・。

なんか
おもしろそうだね。
折り紙もある!

あら、
あの男子、
器用にあやとり
するのね。

そしてその夜、まなぶさんの家では・・・



さんかく小学校の生徒って
みんなイキイキしてるし、
すごくいい感じだったのよ。
ね、まなぶ。

うん。早くクラブに入って
あやとりしたいな!

まなぶはあやとりが
気に入ったのか?
女の子ばかり
じゃないのか?

お母さんもお父さんも **男の子は
家の中で遊んでないで
外で遊びなさい**って言うけど、
教室の中でもいっぱい
楽しそうな遊びが
あったんだよ!



実は今日、職場で
「入学式行ったらよかったのに」
って言われたんだ。でも周りは
誰も休まないからなあ・・・。
休みにくいよなあ・・・。

でも今日、意外と
お父さん方もたくさん
来られていたのよ。

あなたも
まなぶの様子を見に
行きたかったのにね。
次は**思い切って休みを**
とってみたら?

そうだなあ・・・。
じゃあ今度**参観日でも**あったら、
行ってみようかな・・・。

うん、行きましょ!
さんかく小学校は
**大人が教わることも
多いわ。**

「男だから、女だから」とらわれず**個性や能力を存分に発揮できる**「さんかく小学校」の
いきいきと輝いた生徒たちを見て、花子さん太郎さんの考え方が変わってきたようです。
今回は小学校を「さんかく」のモデルにしましたが、学校だけでなく、
職場も家庭も地域もこのように、「さんかく」を名乗れるような場所になっていくといいですね。
あなたも**できることから「さんかく」してみませんか?**

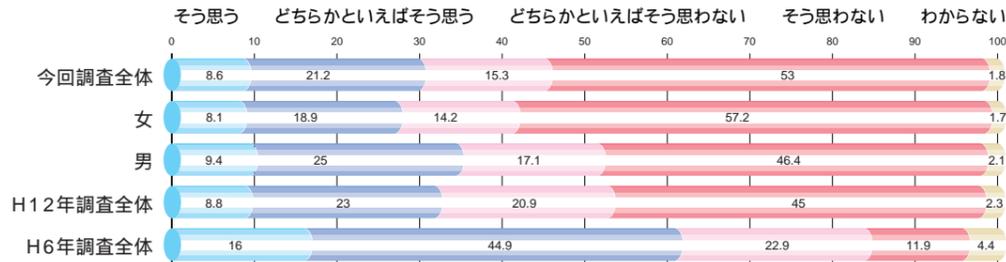
男女共同参画に関する市民意識・実態調査結果より

岡山市では、平成17年9月に「男女共同参画に関する市民意識・実態調査」を3000人の市民を対象に行いました。ここでは、その結果の一部をご紹介します。



「男は仕事、女は家庭」という考え方について

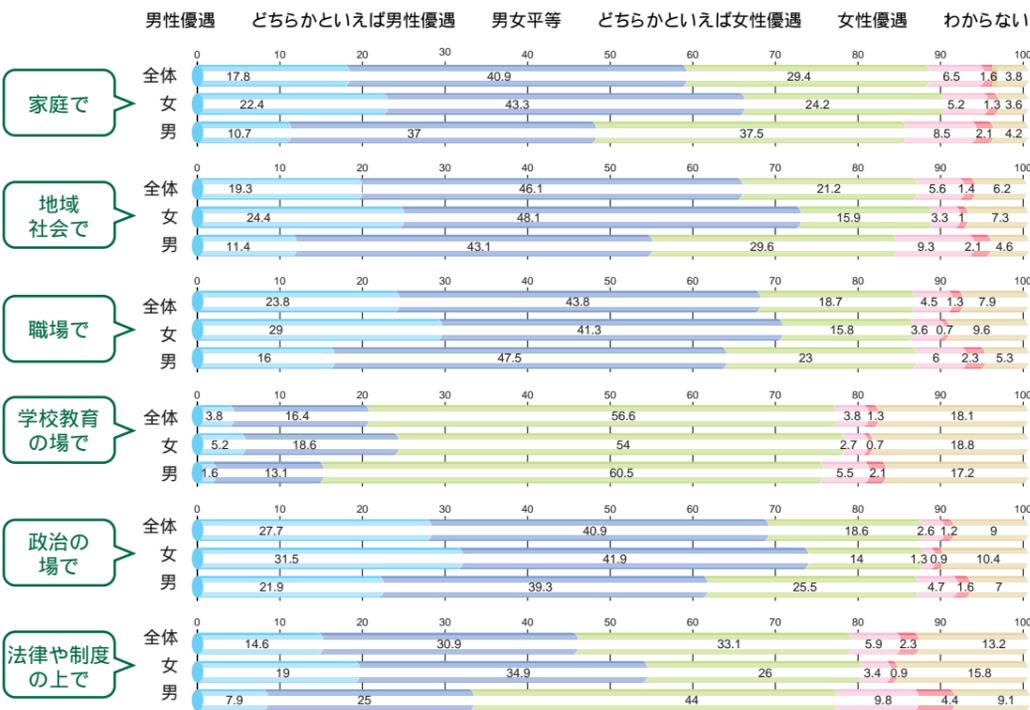
「男は外で働くもの、女は家庭を守るものだ」という固定的な性別役割分担を支持する人は減少傾向にあります。



男女の地位の平等について



各分野における男女の地位について尋ねたところ、男女平等と考える人が5割を超えたのは教育の分野のみで、その他の分野では、『男性優遇派』の割合が高くなっています。また、男性より女性のほうが、男性優遇と考える人が多くなっています。



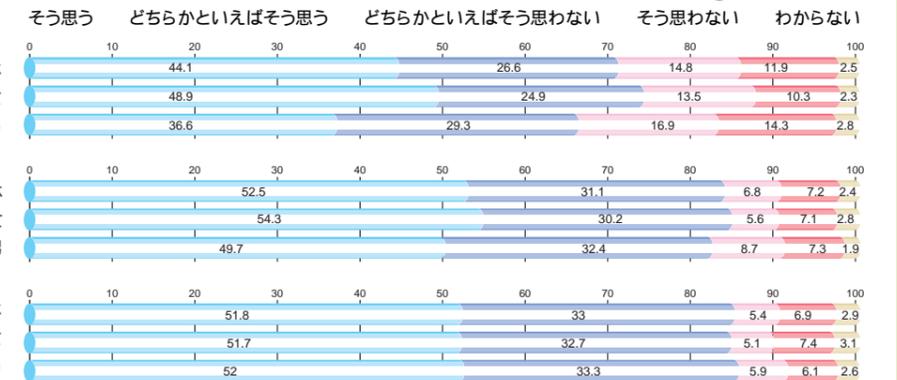
家庭生活について

男女がともに仕事と家庭を両立することが望ましいと考える人は多いものの、子育ては女性の役割ととらえている人も多い状況にあります。

男女どちらが働いても家事育児をしてもよい

男女どちらも仕事と家庭を両立できるのがよい

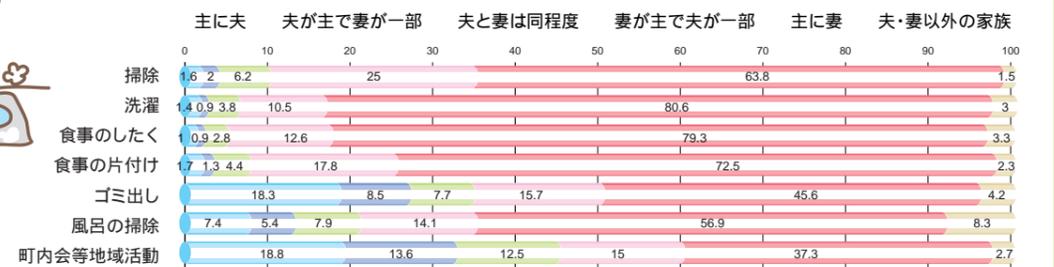
女性も働いた方がよいが子どもが小さいうちは家にいるほうがよい



家庭で家事をどのように分担しているか



全項目にわたって「妻が主に担当している」と答えた人の割合が高くなっています。



配偶者からの暴力(DV)について

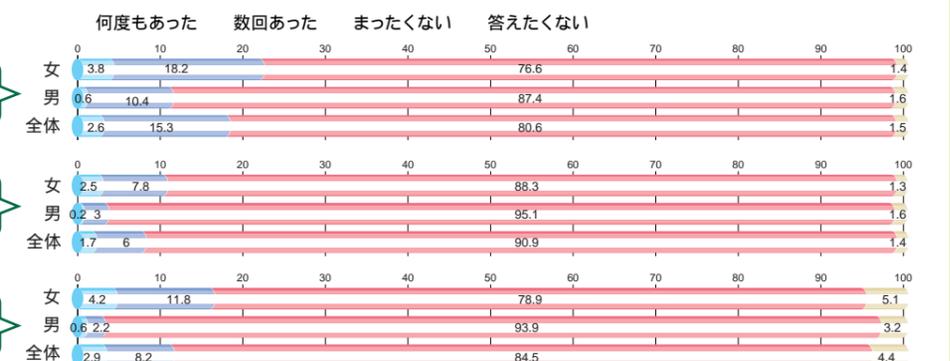
約5人に1人の女性が、配偶者・パートナーからの身体的暴力を受けたと回答しています。



身体的暴力

精神的暴力

性的暴力



結婚について

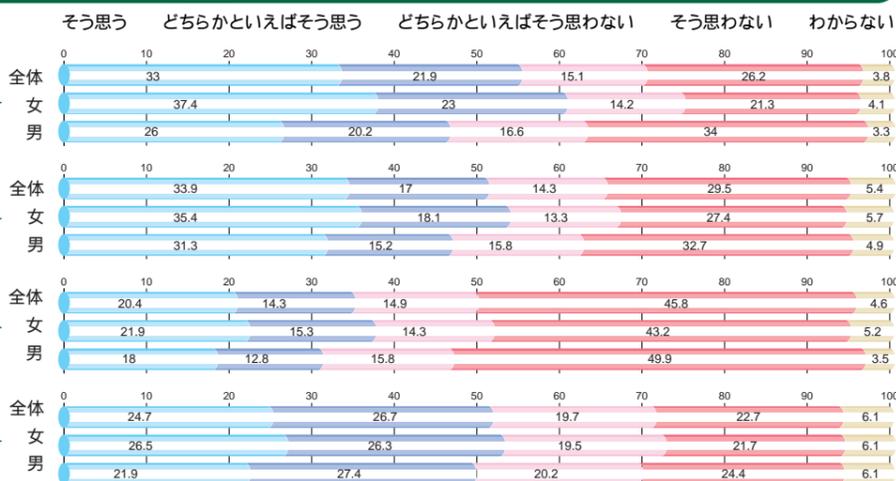
結婚や離婚について個人の自由な選択を認める一方で、婚姻という制度的形式に対する支持は高い状況です。

結婚しなくてもよい

夫婦別姓が認められてもよい

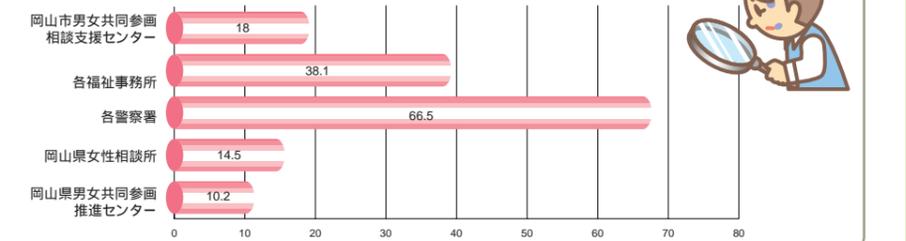
必ずしも婚姻届は必要ない

相手に満足できないときは離婚すればよい



DVについての公的相談機関の認知度

DVの公的相談機関の認知度は、警察署を除いて低く、専門の相談機関としては一番高い市男女共同参画相談支援センターでも18%にとどまっています。



✿ DVなどの悩みを、 ✿ 一人でかかえこんでいませんか？

男女共同参画相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)は、
性別に起因する人権侵害などに関する専門相談窓口です。



こんなとき・・・

夫(妻)や
パートナーからの暴力
を受けている

職場や学校、
地域などでのセクハラに
悩んでいる

性別を理由に
職場などで不当な
扱いを受けた

心と体の性に
関して悩んでいる

いつでも気軽にご相談ください。

電話でも
面接でも

無料です

予約不要
です

相談には女性の
相談員が応じます

個人情報は
固く守ります

必要に応じて、より専門的な相談 女性の弁護士による「法律相談」と女性の精神科医や心理カウンセラーによる「心理相談」を受けることができます。託児室(有料・要予約)をご利用いただけます。

身に危険を感じるような暴力を振るわれた

配偶者のもとから今すぐ逃れたい

DV被害者からの緊急一時保護の申出も受け付けています。

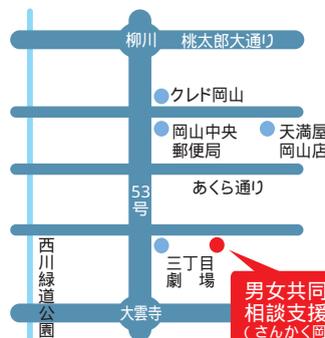
岡山市男女共同参画相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)

相談受付時間 平日 10:00 ~ 19:30(火曜日・年末年始12月29日~1月3日を除く)
日・祝 10:00 ~ 16:30

相談ほっとライン ☎ 086-803-3366

岡山市表町三丁目14番1-201号 アークスクエア表町2階
男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」内

<http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/danjo/scc/index.htm>



男女共同参画
相談支援センター
(さんかく岡市内)

編 集 委 員 を 終 え て

編集委員になった時には、一家の大黒柱、現在は主夫。全く予期しない事だったが、「男性は仕事、女性は家庭」という固定概念が、「男性も女性もいろいろな生き方があって良い」という考え方に変わった。今後多くの方がDUOをネタに話し合い、考え方一つで気が楽になるということに気が付けばと願う。(T・S)

男と女という二つの性があるこそ人類は長く文明をつないでこれたと思います。お互いが慈しみあい、お互いが輝く時代になるようこれからも知恵を出し合っていきましょう。編集委員をさせて頂いて多様な考えに戸惑ったり気づかされたり、またこれからの人間関係のあり方を考えさせられたりとても勉強になりました。DUOがますます愛されるよう願っています。(F・A)

「男女共同参画社会」と聞くと難しそうと思われがちですが、この30号のように身近なところで「さんかく」を意識してもらえるといいなと思い編集に携わってきました。特別な勉強をしたこともなかった専業主婦に、ずっと抱いていた疑問や子どもたちの未来に託す思いを語る場を与えていただき感謝しています。(M・A)

DUOの取材で心に残った言葉があります。「人は自ら選んで男や女に生まれたわけではない。本人の力でどうしようもないことを差別するのは間違っている。人には順番はなく、その人がその人であることを大切にされるべきだ。」 男女共同参画社会が、すべての人の福祉につながることを願っています。(S・T)

DUO vol.30 編集後記

男女共同参画社会の実現に向けてのさまざまな取り組みにより、少しずつ、あらゆる分野において変化がみられるようになりました。あなたは今回「さんかく小学校」を見て何を感じたでしょうか？みんなが「自分らしく生きることのできる」男女共同参画社会の実現を目指して「DUO」はこれからも歩み続けます。(事務局 K・S K・O)

この情報誌は、市民公募の編集委員4名が企画・編集を行いました。